

横浜市会議員 望月こうとくの市政レポート

みんなの声の広場 第25号

平成29年6月20日発行

<http://www.khotoku.net> email : info@khotoku.net tel&fax : 045 - 532 - 9089

平成29年第2回定例会 5月16日（火）－6月6日（火）

TOPIC 1 こども青少年の健全育成施策の推進と 市民の安心安全の向上に全力投球！

例年、横浜市会では、第2回定例会において各議員の所属委員会の変更が行われます。今回の所属委員会替えて、望月は、議案や請願などを審査する常任委員会が、こども青少年・教育委員会〔副委員長〕、そして市政の特定の課題の調査・研究など行う特別委員会が、減災対策推進特別委員会となりました。同時に議会各会派の意見を調整して、市会運営上のさまざまな事項について協議する市会運営委員会の委員となりました。

子育て支援施策を充実させ、いじめのない横浜の教育現場に。

この5月より担当となった常任委員会の“こども青少年・教育委員会”は、青少年育成、保育所整備、児童福祉、学校教育、生涯学習などの仕事について審査します。待機児童対策を進め、いじめなどの教育問題への本市の対応を監督するのも当委員会です。子供や青少年の健全育成のための施策全般を時に提言し時にチェックしていく場となります。

昨年暮れ、福島から来られたお子さんがいじめに遭っていた問題が発覚し、横浜の公教育への信頼を揺るがす事態に発展しました。あつてはならないことです。私は、今年度は当委員会に所属し同様の問題を起こさせないように是非ともしたいと考え、会派にその希望を伝えて当委員会担当となりました。そして副委員長職も務めることになりました。委員会中は、各委員が自由に闊達な議論を行うことを第一に優先しますので、前面に出ることはできませんが、委員会前には副委員長として当局より議案の中身や報告案件について事前に（2ページ目に続く）

～ 横浜市いじめ防止基本方針（改定原案）に対する意見をお寄せください ～

【ご意見の募集期間】

平成29年6月12日（月）から平成29年7月28日（金）まで（郵送の場合は当日消印有効。）

詳しくは、“横浜市 HP”を検索の上、ご確認ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/>

本市のいじめ対策の基本的考えや対応をまとめた「横浜市いじめ防止基本方針」の改定を進めています。

(2 ページ目より続く) 説明を受けることになります。そうした場也大いに活用し、チェックすべきことはチェックし、改善すべきことは改善させていきます。

親御さんが朝、お子さんを安心して送り出せる学校

お子さんが安心して、楽しく学べる学校

を目指して。

TOPIC 2 横浜の未来を決めるのは私たち。 横浜市長選近づく！！

世間では、豊洲移転問題やオリンピック施設の建設費問題が相まって、東京都議会選挙に注目が集まっています。小池都知事の与党になりそうな勢力は何議席獲得するのか。マスコミが連日、政局絡みの報道を繰り返しています。それに比べて陰に隠れ、まだ市民の関心は低いけれども大切な選挙が迫っています。横浜市長選挙です。7月16日(日)告示、30日(日)投票となります。

横浜市は、370 万人超の市民が暮らす全国最大の基礎自治体です。本市は、ご存じの通り政令市ですので、一般に市の仕事とされるものから通常、県が行う仕事まで多岐にわたって行っています。大きな役割を担っています。予算規模も一般会計だけで約 1 兆 6 千億円。それを執行していく市長の権限は大きく、責任は重大です。その大切な市長を選ぶ選挙は、4 年一度の市政の最大イベントです。選ばれた市長の市政運営は、私たちの生活に直結していきます。まさに私たちが、私たちの未来を選ぶ選挙となります。

身近な暮らしの問題から始めて。でもそれだけでなく。

振り返ると 4 年前の市長選の投票率は、29.05%でした。これは残念ながら低い数字です。今回の市長選挙にどういった方が名乗りを上げるか分かりませんが、市民の皆さま、貴重な一票を是非行使しましょう。

では、今回の市長選挙の際に、市民は何を投票の判断材料にしたらいいのか。私は、政治とはまさに生活そのものと考えています。ですから各人の今の生活課題に関連する施策にまずは注目すべきと思っています。例えば共働きをしながら、公立中学校に通うお子さんがいらっしゃる方なら中学校給食の問題。例えば介護を必要とする親を抱え、同時に育児・子育ても両立しなければいけない方なら、そうしたダブルケアの大変さを理解し、行政としての支援施策を充実させられるかなど。つまり身近な生活問題からです。



〔ウォーターフロントは、横浜の財産①〕

次に出来るならそれで終わらせず、当面自分の生活に影響するわけでもなくとも、将来世代に関わる横浜全体の課題にも、是非、目を向けて頂ければと思います。(3 ページ目に続く)

カジノは横浜に必要か。真正面から問うべき！



〔ウォーターフロントは、横浜の財産②〕

話がそれられるかもしれませんが、IR カジノ構想をちょっと考えてみて下さい。この構想については、当レポートの第12号や第14号そして第23号の中で、問題提起してきました。私は、①依存症やマネーロンダリング・反社会勢力の介在などの負の側面への説得力ある対策がないこと〔一番の対策はやらないこと〕、②投資額に比べて得られる税収や経済効果は少ないこと、そして③そもそも素晴らしいウォーターフロントを有する横浜には似つかわしくないと

考えていることなどを理由に、横浜へカジノ施設を造るのは反対と申し上げてきました。ただ一方で、ある程度この構想に賛成の方々がいるのも事実です。賛否いずれにしても、もし横浜にカジノ施設ができるとなれば大ごとです。横浜の街づくりを私たち市民はどうしていきたいか。5年、10年と限らず30年先、50年先、その先の我が横浜をどうしていきたいかが問われる問題です。

昨年いわゆるカジノ推進法が成立しました。本年中をめどに実施法が整備され、その後、実施自治体の決定や運営事業者の選定が行われていきます。こうしたことは今後数年の話です。それはまさにやるもやらないも、7月の選挙で選ばれる新市長の下での話となります。これは横浜全体の将来に関わる事です。一市長や一時の議会だけで決めるべき問題ではなく、市民全体を巻き込み、市民全体に問うべき問題と考えます。その意味で、どういった方が市長選に立候補した場合でも、IRカジノ構想に賛成か反対かを明確にすべきと考えます。この点は、今回の市長選の一つの争点と考えます。候補者の論戦に期待したいと思います。

TOPIC3 「区民文化センター」の基本構想策定開始へ。

地下鉄センター北駅近くに市保有の文化施設用地があります。現在は、夢スタジオが置かれている場所です。区民の皆さまご存じでしょうか。本定例会で、この場所の今後の活用に関係する条例が成立しました。“横浜市都筑区における区民文化センター基本構想検討委員会条例”です。これによって区民文化センターの整備が今後具体化されていきます。

私は、これまでも区民文化センターの具体化にあたっては、既存の手法や発想にとらわれる必要はないと考えるが、出来るだけ多くの区民の声を聞き、広く区民に受け入れられ親しまれる施設を、区民参加型で作ってほしいと折に触れ担当者に伝えてきました。今回の本会議議案質疑でも、会派の質問者にその考えを市長に問いかけてもらい、区の実情に応じた施設内容となるよう、広く区民の声を取り入れ、意見をしっかり受け止めながら事業を進めていくとの回答を得ました。7月以降、区民からアイデアを伺う“アイデアミーティング”を交えながら基本構想を策定していくこととなります。**是非、区民の声をお寄せ下さい！**

詳しくは、区政推進課 企画調整係 045-948-2227 まで

【当レポート発行者プロフィール】

横浜市議員〔都筑区選出〕 望月高德（もちづきこうとく）。静岡県出身。本年４月で横浜市在住 29 年目。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。（株）野村総合研究所社員、学習塾経営、専門学校講師などを経て、平成 23 年 4 月より現職〔2 期目〕。

政治を目指す原点は、学生時代の新聞奨学生体験。政治信条は、公正・共生・寛容。



“皆さんの声”は、横浜市議員 望月高德 が承ります！

TEL&FAX:045－532－9089

Email: info@khotoku.net

【望月 高德政務活動事務所の所在地】

〒224-0003 都筑区中川中央 1 - 24 - 17 - 2F

〔市営地下鉄センター北駅 1 番口よりノースポート側すぐ〕

“皆さんの声”を気軽に寄せ下さい。

ご記入日／平成 29 年 月 日

横浜市政や区政、あるいは政治全般について、お気付きの点やご意見があれば教えて下さい。

ご記入者のご氏名〔^{ふりがな} 〕 年齢〔 歳〕 性別〔男・女〕

ご記入者のご住所〔〒 - 〕

ご連絡先のお電話番号〔 - 〕

Email〔 @ 〕

※ 以上の項目は、すべて任意。可能な項目のみご記入をお願い致します。

※ お寄せ頂いた個人情報は、適正に管理します。

※ ご連絡先のご記入のある方には、望月から回答のためご連絡を差し上げたり、市政報告会などのご案内をする場合があります。